

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
15年11月2日

夜オリ”三方よし”(参加者よし、出店者よし、民商よし)

十月二〇日(火)夜に開催された「夜の駅前オリエンテーリング」(民商駅前支部・万代支部共催)は、三年前のスタンプラリーに続くもので、出店十七店舗、参加者も八〇名と前回よりも大幅に増えました。三年前は参加者に考慮して土曜日の設定でしたが、今回は出店者の意向を聞き、飲食店がもつとも厳しいとされる「火曜日」設定へと発想を転換。

当日は午後から雨が降り出し、雨天決行の心配もありましたが、受付開始(六時)の二時間前には見事に雨も上がり、会場のスナック嗟峨(さが)さんに参加者が続々と押し寄せました。開会式で高橋博美実行委員長(駅前支部長)が、「皆さんの協力でお店十七店舗、参加者も八〇名と多くの方からご協力いただきま



した。飲食券や景品も多くいただき、空くじなしの抽選会もこれから始まります。大いに飲んで食べて歌って楽しんで下さい。そして新しいお店も発見して、駅前・万代飲食店街と一緒に盛り上げていきましょう」とあいさつ。

日程

- 十一月五日常任理事会
- 十一月十二日県交渉
- 十一月十五日県業者婦人学校

抽選会は、キリンビールマーケティング(株)・朝日酒造(株)・(株)小川酒店さんの他に多数の出店者から景品を提供していただき、それらが当たるたびに歓声が上がりました。

その後、七時〜九時の二時間三軒訪問めざして全員がスタート。どのお店も笑顔で待ち受けます。参加者も気分よく次々と追加注文で売上に貢献します。あ



る割烹では「わあ〜こないもの出して赤字じゃない」と歓声が。あるスナックでは飲み放題のサービスも。スナックでソーメンまで出してもらったと喜ぶ人。居酒屋では「野菜炒めをサービスしてくれたのよ」の声も。シヨットバーでは、女性組が「こんな機会でもないとなれないお店よね」とロ々に。ダーツやビリヤードに興じる参加者も。「また来たい」「今度は友達と来るから」と約束する人。9時以降も多くのお店がにぎわいました。出店者も「こんないいことだとは思わなかったわ。また計画して下さいね」「本当にいいわ!ありがとうございます。ありがたい」「すごく良かった」「1時過ぎまで何人も来てもらって最高!」、あるスナックのママさんはお客さんから買ってもらったチケット3枚が、二次会としてその3名の方とともに別のお客を引き連れて報告に戻ってくれました。まさに「ブーメラン現象」の大効果です。高橋実行委員長は「感激です。本当に参加者・出店者・民商が一緒になって力を発揮してくれたおかげです。ありがとうございます。しっかり反省会も開き、反省と教訓をまとめ次回の夜オリに活かしたい」と語っています。

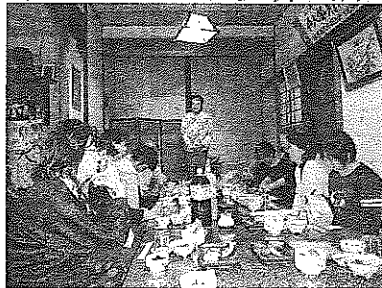
亀田支部婦人部総会&母親大会報告会

十月二十四日(土)、ときん寿司さんに十四名が集まりました。

第一部の総会は、黒井部長、渡部副会長のあいさつで始まりました。黒井部長からは県母親大会に参加した時の話。八法亭みややっこ弁護士士の楽しく分かり易い講演等が語られました。

渡辺有子議員からは五六条廃止を求めた口頭意見陳述について。「今回も不採択となったが、今度は議員の方から提案してみようと思う。戦争法・BRTにしても民主主義とは何かを考えさせられる。」と語られました。

第二部の報告会は、参加した寺尾支部の五十嵐副部長から報告。映画「標的の村」。軍が沖繩の普通に生活している村の人を標的に訓練している事が衝撃的だった。民謡を歌いながら反対する姿は涙を誘う。映画をみて沖繩まで行って座り込みをしてきた友人がいるとの事でした。十一月十五日(日)の県業者婦人学校(亀田市民会館・十時三十分から)で上映!ぜひ参加してみてください。



懇親会は、仕事・趣味など語り合い、(ピーナツゆでるとおいしいそうです)初参加の方・黒井部長家のお嫁さんも駆けつけてくれ、交流を深めました。

BRT直接請求署名・国保署名を広げよう!

署名の準備できました

■BRT署名は市民の賛否の意見を確認する住民投票条例の制定を求めるもので、BRTに賛成の方にも広げましょう。

■署名簿は30名の署名ができます。ただし署名簿は区ごとの記入になります。「中央区専用」の署名簿に、他区の市民の署名があっても無効になります。

■署名簿には、氏名、住所・生年月日を書いて印鑑を押します。印鑑はシャチハタでも拇印(ぼいん)でもオッケーです。

国保署名も一緒に集めましょう

全商連「商工新聞中心の活動と・班支部建設」全国交流会(前編)

今月二十四日(土)〜二十五日(日)の二日間をかけ東京を会場に「商工新聞中心の活動と・班支部建設」全国交流会が開催されました。一日目には代表者三名からパネルディスカッションが行われ、二日目は三班に分かれて分散会が行われました。

以下は会議に参加された山田政実副会長からの報告です。

『商工新聞中心の活動と班・支部建設全国交流会に参加して』

困った時は力になる、民商の値打ちを押し出す、そして二十万会員、三十万読者回復突破拡大で反撃に力を会員民商の姿を押し出す必要が有る、そして、商工新聞を中心の活動と班・支部建設をさらに強め来年の五十二回総会を組織の前進の中で迎えるための実践交流をして行く事である。

①班会・支部役員会での集集集まりを通じて、民商、全商連運動に対する理解と納得を広げることが大切です。

②新会員を歓迎する機会を増やし班支部の間として迎え入れる、語る力を高め新しい仲間の商売の工夫や苦勞を語る。

③班長や支部役員が確信を持てる学習機会を設ける。

④地域での結び付きを強める班活動、班体制の一覧表を用意する。

⑤民商運動の継承発展を図る青年部と協力し経験を生かし民商の商売を語る会など率直な思いが響き合う機会をつくる。

民商会員として信頼関係を土台としつつ政治のあるべき姿についてお互いが意見と態度を率直に明らかにし、じっくり話し合うことが大切です。全国の仲間によって選出された代表によって活動する政治的な態度表明を信頼しその中身を読者にも伝え広げる取り組みが出来るような組織建設に挑戦しつづけることです。